

## 拡大先願たる発明の完成 ーガラス板合紙用木材パルプ及びガラス板用合紙事件ー

知財高裁令和2年11月10日（令和2年（行ケ）第10005号）  
裁判所ホームページ

知的財産法研究会  
弁護士法人関西法律特許事務所  
弁護士・弁理士 <sup>たのうえ</sup> 田上 洋平

### 第1 事案の概要

本件は、名称を「ガラス板合紙用木材パルプ及びガラス板用合紙」とする発明（特願2014-554542号。以下、「本願発明」という。）の出願人たる原告が、拒絶査定不服審判の請求不成立審決（不服2018-17153号。以下、「本件審決」という。）の取消を求めて、特許庁長官を被告として提訴した審決取消訴訟である。

なお、本願発明である「ガラス板用合紙（あいし）」とは、板ガラスを重ねる際に、ガラスの傷や汚染等を防止するために板ガラスの間に挟む保護用の紙のことである。

### 第2 本願発明

本願発明（補正後の請求項1）は次のとおりである。

「木材パルプを原料とするガラス板用合紙であって、紙中に含まれるシリコンの量が、紙の絶乾質量に対して0.5ppm以下であるガラス板用合紙。」

### 第3 本件審決

#### 1 本件審決の結論

本件審決は、本願発明が本願出願後に国際公開がされたPCT/JP2013/083992の優先権主張に係る特願2012-280085号（以下「先願」という。）の願書に最初に添付された明細書、特許請求の範囲又は図面に記載された発明と同一であり、しかも、本願発明の発明者が上記先願に係る上記発明をした者と同じではなく、また本願の出願の時に、その出願人が上記先願の出願人と同一でもないため、特許法第184条の13の規定により読み替える特許法第29条の2の規定により、特許を受けることができないとした。

## 2 先願明細書の記載

先願の明細書、特許請求の範囲及び図面（以下「先願明細書」という。）には、以下の事項が記載されている。

### 「【0006】

しかしながら、ガラス板間にガラス合紙を介在させる方法では、ガラス合紙とガラス板の表面とが、直接、接触する。そのため、ガラス合紙の表面に存在する樹脂など各種の成分などがガラス板の表面に転写されて、ガラス板の表面を汚染し、ガラス板に、紙肌模様や焼けや汚れ（以下、転写汚れとも言う）等の問題が生じる。

### 【発明が解決しようとする課題】

### 【0009】

これらのガラス合紙によれば、ガラス合紙が含有する成分等が、ガラス板の表面に転写されることを低減して、ガラス板表面の転写汚れを抑制できる。

しかしながら、これらのガラス合紙では、FPD用のガラス板など、表面に配線や電極等の素子が形成されるガラス板の積層に用いた際に、ガラス合紙からの転写汚れに起因する、微細な配線、電極、電気回路等の不良の発生を十分に抑制するのは、困難である。

### 【0010】

本発明の目的は、前記従来技術の問題点を解決することにより、ガラス板の表面に配線や電極等の素子を形成した際に、ガラス合紙からの転写による汚染に起因する配線等の不良の発生を大幅に抑制できるガラス合紙、および、このガラス合紙を用いるガラス板梱包体を提供することにある。

### 【0021】

本発明者らは、この原因について、鋭意検討を重ねた。その結果、ガラス合紙からガラス板に転写された、ケイ素元素を有する有機化合物（以下、有機ケイ素化合物とも言う）が、配線等の不良の大きな原因となっていることを見出した。

### 【0025】

本発明者らは、さらに検討を重ねた結果、ガラス合紙の有機ケイ素化合物の含有量を3 ppm以下とすることにより、ガラス合紙からガラス板に転写された有機ケイ素化合物に起因する配線の不良等の発生を、大幅に低減できることを見出した。

すなわち、本発明のガラス合紙を用いることにより、FPD用のガラス板などの表面の有機ケイ素化合物からなる異物を除去するための高度な洗浄等を行わなくても、ガラス板の表面に微細な配線、電極、電気回路、および隔壁などの素子や、カラーフィルタのブラックマトリックス等を形成した際に、有機ケイ素化合物に起因する断線等の配線などの素子の不良や、ブラックマトリックスのムラの発生を、大幅に抑制できる。従って、本発明のガラス合紙を用いることにより、FPDなどの生産コストを低減し、歩留りを向上できる。

### 【0026】

前述のように、本発明のガラス合紙は、有機ケイ素化合物の含有量が3 ppm以下のガラス合紙である。

有機ケイ素化合物の含有量が3 ppmを超えると、ガラス合紙からガラス板への有機ケイ素化合物の転写を、十分に抑制できず、ガラス合紙からガラス板に転写された有機ケイ素化合物に起因する配線の不良発生等の低減効果を十分に得られない。

### 【0027】